

議事3 青少年センターにおける街頭巡回指導のあり方について

街頭巡回活動の現状と抱える課題

目的

青少年の非行や不良等の問題行為に愛情をもって声かけ・注意を行い、未然に非行防止を図るため巡回活動を実施

現状

子どもを街角で見かける機会や、夜間巡回の際に公園などで姿を眼にする機会が減少。商業施設等では喫煙行為はもとより、問題行動や迷惑行為の発生は見られなくなっている。

変化

○行動態様の変化 屋外から室内へ、グループから個人へ、公園遊びからゲーム・ネット動画
○不良行為少年の減少 飲酒、喫煙、深夜徘徊、薬物乱用などは、近年減少傾向を示す
○第四の居場所ネット 長時間利用による生活の乱れや、いじめや被害・トラブルへの懸念
○青少年施策の変化 子どもの育成、不安や悩みを抱えた子ども若者支援を一体的に取り組む

対応方策

- 自画撮り被害と特殊詐欺加担、薬物などへの警戒強化
- 帯広警察署をはじめ少年非行防止活動団体との情報共有や連携
- 行動や外出の自粛によるSNS利用増に伴う、ネットトラブル防止への意識啓発

今後の取り組み

- 巡回は街頭犯罪や初発型犯行の未然防止に必要 → 切れ目ない地道な活動の持続が未然防止につながる
- 警察署や少年補導員と連携した巡回ポイント設定 → 警戒ポイントの共有と、巡回活動への活用反映
- SNS利用における自画撮り被害やトラブルの防止 → フィルタリング設定の促進、啓発活動の継続